

もっと、 こども まんなか

education column

いま、学校教育を取り巻く環境は、大きく変わってきています。こどもたちの未来のため、教育 DX の推進や不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、官民一体型学校など、武雄のこれからの教育について、一緒に考えてみませんか？



VOL. 11

教育 DX^{*}で広がる、こどもの学びの可能性

ICT を活用した新しい授業が広がる

文部科学省リーディング DX スクール事業において、4つの指定校(武雄中、武雄北中、若木小、武内小)を中心に、その他の小中学校を協力校として位置づけ、実践を進めてきました。

授業では、タブレット端末の活用や課題解決のために自由に移動して取り組む姿など、さまざまな学習活動が見られ、保護者の皆さまが経験された従来の学び方から大きく進化しようとしています。それぞれの先生が試行錯誤を重ねながら取り組み、昨年12月に指定校での公開授業を実施。全国から(北海道から沖縄まで)約300名の参加者が来校され、多くの意見や感想とともに高い評価をいただきました。

【参加者の声】

- ・生徒が目標を達成するために意欲的に楽しみながら取り組んでいた。
- ・タブレットをツールとして活用しているこどもたちの姿に新しい教育の在り方を感じた。
- ・学習の見通しをもち、他者の考えを参考にしたり、自分のこれまでの学習記録を振り返ったりして主体的に学んでいた。
- ・ファシリテーターとしての教師の役割が重要であり、どのように生徒をサポートするか、参考になった。

学力との関係は？

全国学力・学習状況調査(R6.4月実施)の結果を見ると、課題の解決に向けて話し合い、まとめ、表現する学習活動において、ICTの活用頻度が高いことがわかっています。

ここで注目すべきなのは、「主体的・対話的で深い学びの授業が実現できているか」という点です。つまり、「ICT機器を使うか使わないか」ではなく、主体的・対話的で深い学びの観点での授業改善が最も重要であり、その実現のための有効なツールがICT活用だと考えられます。

そのためにも、タブレット端末を活用する際は、それが真の学びにつながっているかという意識が必要であり、それを正しく見極める教師の目が求められます。同時に、基本的な学習規律を保つことも大事な要素です。

こどもたちを見守り、変化に気づく

こどもたちの学習には、改めてご家庭との連携が不可欠であることが明らかになってきました。こどもたちは土日や長期休暇を含め、生活時間の約8割を家庭で過ごしています。タブレット端末を使った家庭学習において、保護者の皆さまにもお子さまの学習活動への積極的な関わりをお願いしたいと考えています。具体的には、その日の学習内容についての対話、デジタルドリルの進捗確認、復習時の振り返り記録を見ながらお子さまの成長や課題について話し合うなど、さまざまな形で参加が可能です。このようなタブレット端末を通じた学習活動が、ご家族との大切なコミュニケーションの機会となることを願っています。

※教育現場においてデータおよびデジタル技術を活用することで、教育手法や手段などを変革すること。



武雄市教育委員会
新しい学校づくり教育監 林 正昭

Move Forward
未来はわたしたちが創る

令和5年度に開催した「こども教育会議」において、第3期武雄市教育大綱を策定しました。第2期までの教育大綱『組む』をさらに推し進め、こどもたちだけではなく、武雄に住み、働くわたしたちが未来を創るという決意を表しました。これまで以上に、こどもをまんなかに考えるとともに、多様性を受け入れ、ひとりひとりがこどもたちの為に動き出すことにより、さらなる武雄市の教育の充実に取り組みます。

指針1 地域社会で育ち合う

指針2 誰一人取り残さない

指針3 希望を持ち夢を実現する

すきま時間で収入アップ
よかワークカフェ相談会
相談無料 予約不要 年齢不問

すきま時間で働きたい方と、忙しい時期・時間だけ人手が欲しい事業所のニーズをマッチングしています！

お仕事の始め方やどんな仕事ができるかなどの相談ができます。
※利用には会員登録が必要です(登録料・利用料無料)

3月21日(金)

10:00~16:00(1人・約30分)

場所: 武雄市図書館

問合せ: ☎0954-36-2386 (株)ヒューテック

武雄娘野 雇用創出・スタートアップ支援事業

よかワーク

詳しくは
コチラ

